

## 令和4年度「船上山アカデミー」実施報告書

### I 事業の概要

1 期日 令和4年12月25日(日)～27日(火) ※2泊3日



### 2 日程

12月25日(日)	12月26日(月)	12月27日(火)
14:00 出合いのつどい 14:30 オリエンテーション 荷物移動 15:00 交流レクリエーション 15:30 個人学習① 17:30 夕食 18:30 星空観察 19:30 個人学習② ふりかえりタイム① 20:30 入浴(自習) 就寝準備 22:00 就寝	6:30 起床 7:30 朝のつどい 8:00 朝食 9:00 個人学習③ 11:00 ニュースポーツ 12:00 昼食 13:00 学び合い学習① 14:00 個人学習④ 15:30 休憩 15:45 個人学習⑤ 16:45 休憩・着替え 17:00 キャンドルヨガ 18:00 夕食 19:00 学び合い学習② ふりかえりタイム② 20:00 入浴(自習) 就寝準備 20:30 就寝	6:30 起床 7:30 朝のつどい 8:00 朝食 9:00 退所点検 9:15 個人学習⑥ 10:45 休憩 11:00 個人学習⑦ 12:00 昼食・感想記入 13:00 個人学習⑧ 14:00 荷物整理・片付け 14:15 ふりかえりタイム③ 感想発表 14:30 別れのつどい 15:00 解散

### 3 ねらい

- ・自ら掲げた学習課題に個人で取り組み、学力の定着を図る。
- ・交流活動や集団生活を通して、自律した生活態度や互いにより良い関係を築こうとする態度を養う。



### 4 対象 小学4年生～中学3年生 36名



### 5 応募者数・当日参加者数

応募者数29名、当日参加者数23名 (小学生:18名 中学生:5名)



### 6 参加費 4,500円

### 7 ボランティア

25日(日) 元指導員1名、元学生ボランティア経験者1名

26日(月) 元指導員2名

27日(火) 島大生4名

※すべて日帰り



## II 実施状況

### ■ 1日目の活動<12月25日(日) 天候 くもり>

14時から出会いのつどいを始め、職員の自己紹介で場を盛り上げた。まだまだお互い緊張している様子であったが、まずは目標カードに自分の目標を記入し、2泊3日の船上山アカデミーに向けて頑張っていく決意を固めた。

まず始めに、交流レクリエーションとして、グループごとで「サイコロ足し算」を行った。この時からボランティアの方も参加し、自己紹介を行った。レクリエーションでは、サイコロをふって足したり、引いたりしてできた数字を集める活動を通して、参加者の緊張もだんだんとほぐれていき、あと少して数字がそろいそうなとき、サイコロをふる友達に「がんばれー!」「たのむ!」「おいしい!」など声をかける場面が増えていった。

レクリエーション後から、個人学習が始まった。個人学習の最初はひとりでじっくり学習に取り組む時間、残りは分からないところを質問する相談タイムの時間とした。その前に、指導員が頭ほぐし問題を提示し、みんなで少し難しい問題を解いていった。学習に向かう雰囲気ができたところで、個人学習、相談タイムと行っていくことで、集中して学習に取り組む姿が見られた。

夕食後には星空観察を計画していたが、あいにくの天候のため、レクリエーションホールのスクリーンにプロジェクターで映像を映し出して星空を鑑賞した。講師の先生の丁寧な説明で、天体に興味をもてるひとときとなった。

休憩時間には、ボードゲームなども用意し、アカデミーらしく、知恵を使ったゲームに親しむ姿が見られた。

### ■ 2日目の活動<12月26日(月) 天候 くもり>

午前中の個人学習の後、体育館でカローリングを行った。寒い中ではあったが、体を動かし心も体もリフレッシュすることができた。勝ち負けより試合自体を楽しむ姿が見られ、子どもたち同士の良い関係ができていくことが感じられた。

午後からは、学び合い学習を行った。1回目の学び合い学習では、オノマトペを使ったオリジナルの妖怪を考え、ワークシートにまとめてもらった。個人で考えてからグループで考え、各班一つの妖怪を発表してもらった。班で話し合う場面では、学年が下の児童の方がよいひらめきがあり活躍する場面があった。班で楽しそうに学び合う姿が印象的であった。

再び個人学習に取り組んだ後には、講師の方を招いて、キャンドルヨガを行った。ヨガでストレッチ系のポーズをとりながら体を動かし、だんだん暗くなる部屋にろうそくだけを灯して火を見つめた。全員が静かな空間で瞑想に入る姿から、勉強から解放されリラックスしつつ、集中力を高めている様子を感じられた。

2回目の学び合い学習では、つぎはぎ川柳に班ごとで取り組んだ。自分の考えた川柳を班のメンバーの作品と混ぜて、つぎはぎに作品を



作る様子はとても和やかだった。偶然できた作品でも良いところ、面白いところを考え発表した。発表する側も聞く側もしっかりと相手を意識している雰囲気ができており、全体でのまとまりを感じた。



### ■ 3日目の活動<12月27日(火) 天候 くもり>

3日目の朝のつどいでは、2日目の朝のつどいとは違う体操を行い、体を動かしてスタートした。

この日から島根大学のボランティアが4名参加し、相談タイムの体制は充実したものとなった。学生ボランティアは、手を挙げて分からないことを意思表示している子どもを教えるだけでなく、時には、自分から困っている子どもにタイミングを計って助言をしていた。

個人学習では、3日間最後の学習時間ということもあり、学習のルールも浸透し、集中してそれぞれの課題に取り組んでいた。昼食後の最後の学習を終え、片付けを行い、各班で感想発表会を行った。

別れのつどいでは、3日間のスライドショーの鑑賞、各班代表による感想発表を行った。この3日間、感染対策を講じながら、体調不良を訴える子どももおらず元気に過ごし終えることができた。

## III 総括

### 1 アンケート結果

#### 《参加者の満足度》

(参加者23名 アンケート 回収率 100% 23名)

事業全体の満足度:満足 18名、おおよそ満足 5名



#### 《参加者の感想(抜粋)》

- ・初めて行ってきんちょうしたし、友だちも作れるかなと思ってたけど自分から話しかけに行ったら友達できました。宿題も終わったし、自分の意見も言えるようになったから次も行きたいです。(小4)
- ・家では長い時間勉強することがないのでいい体験ができました。学び合い学習などみんなですることは協力して考えることができたと思います。これからも利用するのでよろしくお願いします。(小4)
- ・勉強を楽しんですることができました。それは、指導員の方やボランティアの方がやさしくわからないところを教えてくれたからです。カローリングやサイコロのゲームが楽しかったです。(小5)
- ・去年に引き続き来ることができました。コロナの中だったけど2泊3日で開催してくださりありがとうございます。家にこもりっぱなしだったのでいい機会になりました。課題もたくさん進み友達もできました。今日で会えなくなるのはさみしいけど、楽しい3日間でした。本当にありがとうございました。(中1)

### 2 成果

- ・新型コロナウイルス感染が拡大している中だったが、感染防止対策のレベルを引き上げたり、プログラムを接触の少なくなるように変更したりして取り組むことで2泊3日の主催事業を開催できた。
- ・勉強だけではなく、星空講話やキャンドルヨガなどを企画することで、参加者がメリハリをつけて生活できた。参加者もこのような企画に満足している様子であった。
- ・感染対策をしながら学び合い学習を実施し、異学年で意見の交流が活発になり、学年を隔てて学びが深まる様子が伺えた。

### 3 課題

- ・コロナ禍の状況と学生の学業状況の関係で、学生ボランティアを集めることが難しかった。時期の設定と大学との連携をもっと早い段階で進めるべきであった。
- ・休憩時にはボードゲームなどを有効活用できるようにしていたが、ルールの徹底などが少しあまいになってしまい、子どもたちが時間にルーズになる部分を作り出してしまった。